

2019年度 工芸デザイン製図Ⅱ

第二課題「民家と工芸」

取組む意義

- パソコンの普及にともなって、ソフトに付属するひな形やネット上に存在する過去の図面データを利用して、建築図面はコピー&ペーストで描けるようになった。
- その結果として、店舗や集合住宅は言うに及ばず、戸建て住宅に至るまで地域性の感じられない建築が趨勢を占めつつある。

取組む意義

- その傾向はインテリアでも同様である。
- 日曜大工や民具という言葉があるように、工業化されていないモノの魅力は根強く存在する。
- 再生した民家の室空間の解釈をふまえたインテリア（棚、机、椅子など）や造り付け家具の提案は、その極みと言えよう。

→伝統的な建築空間にふさわしい工芸作品を提案する。

びんてーじ

須坂の地域性や歴史的価値を再び現代の人々に味わい、地域の人々へ「居場所」の創出

再生

3世代同居住宅

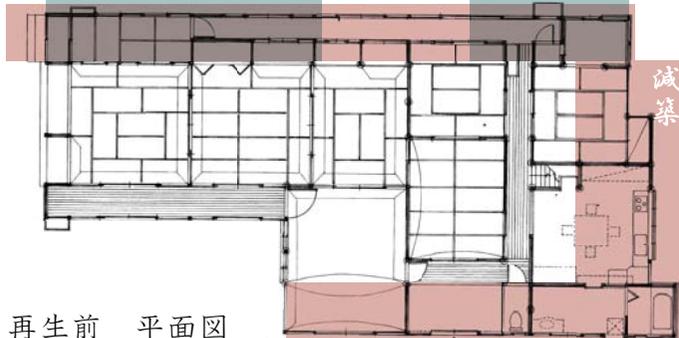
ジュースからワインが提供する飲食店

賑わう拠点

再生後平面図



増築



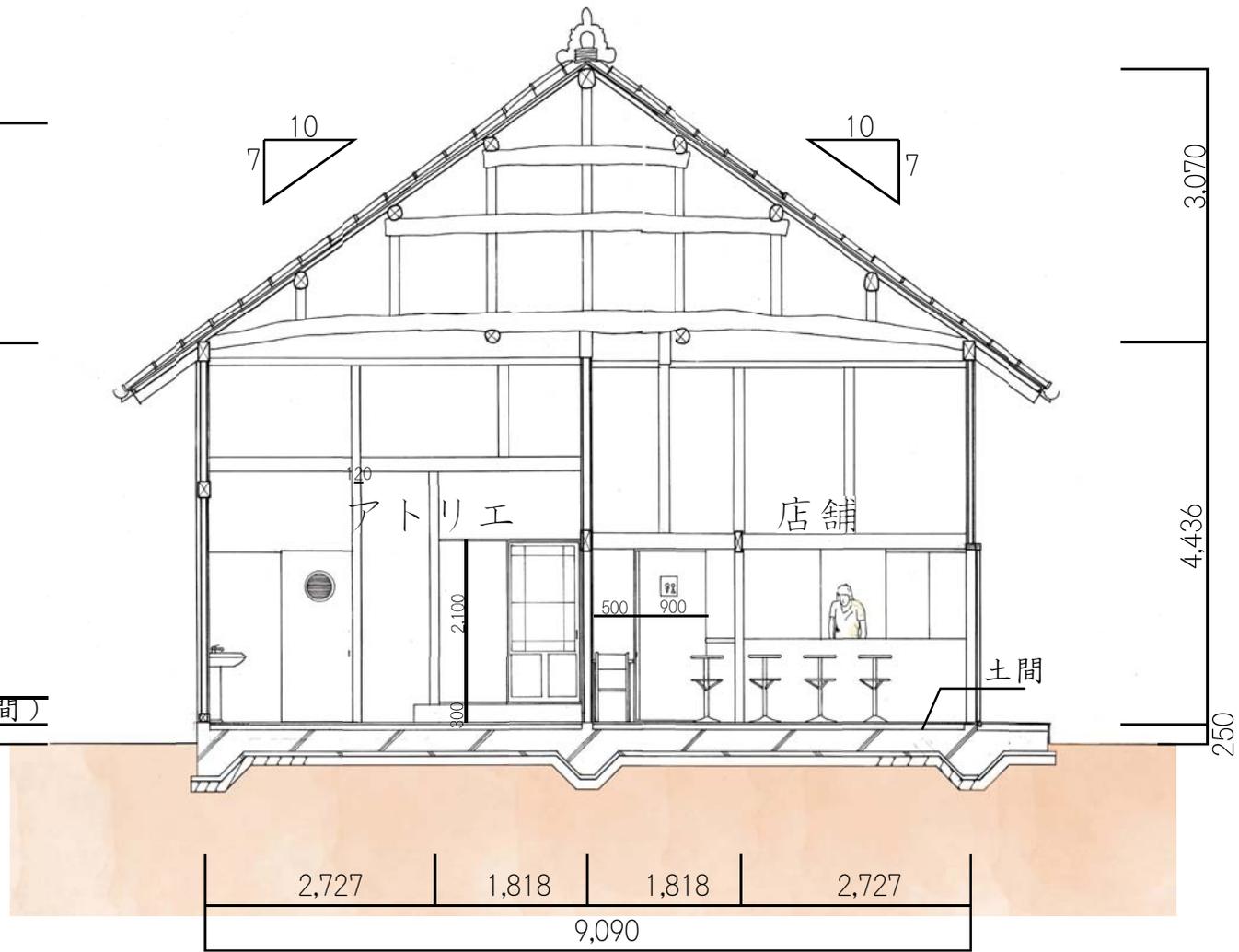
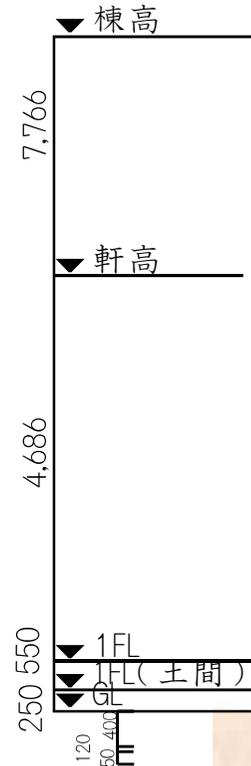
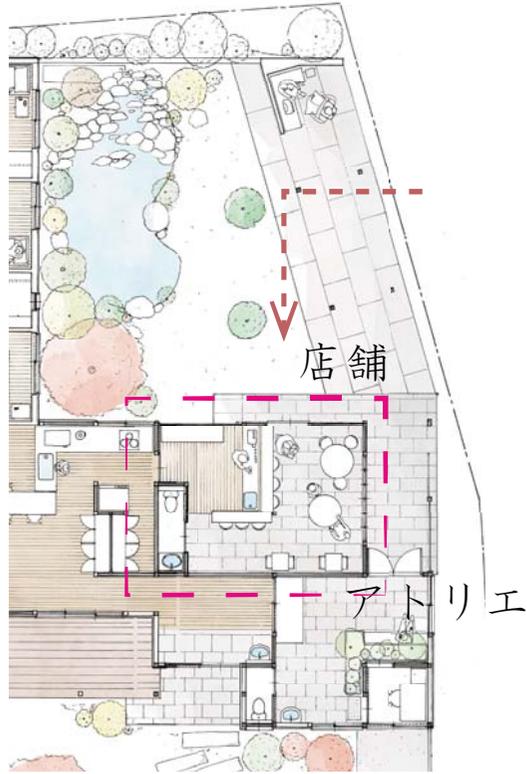
再生前 平面図

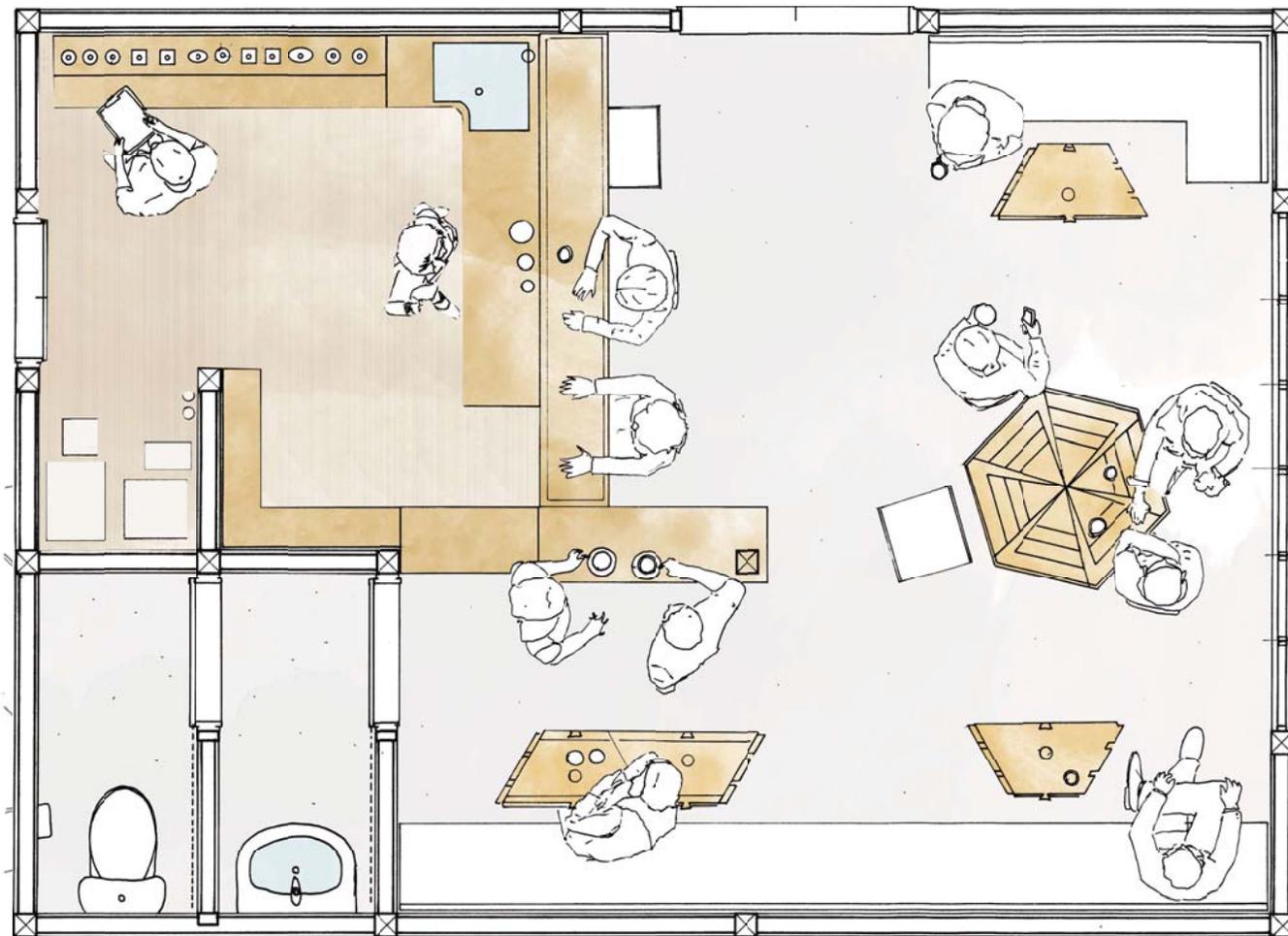


奥座敷の座敷飾り



・びんてーじ (店舗)





規模：約20席

営業：カフェ -

11:00から18:00

バー -

19:00から24:00

～座る・立つ

×

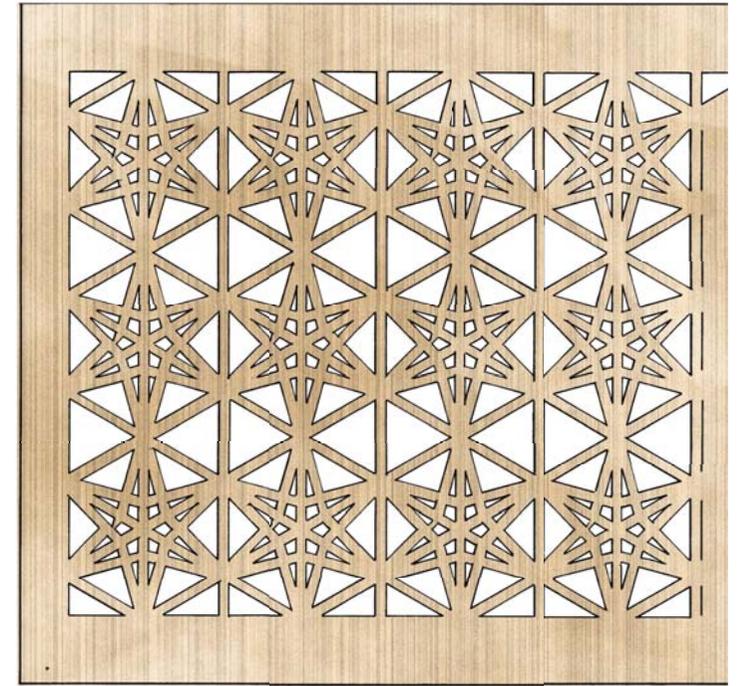
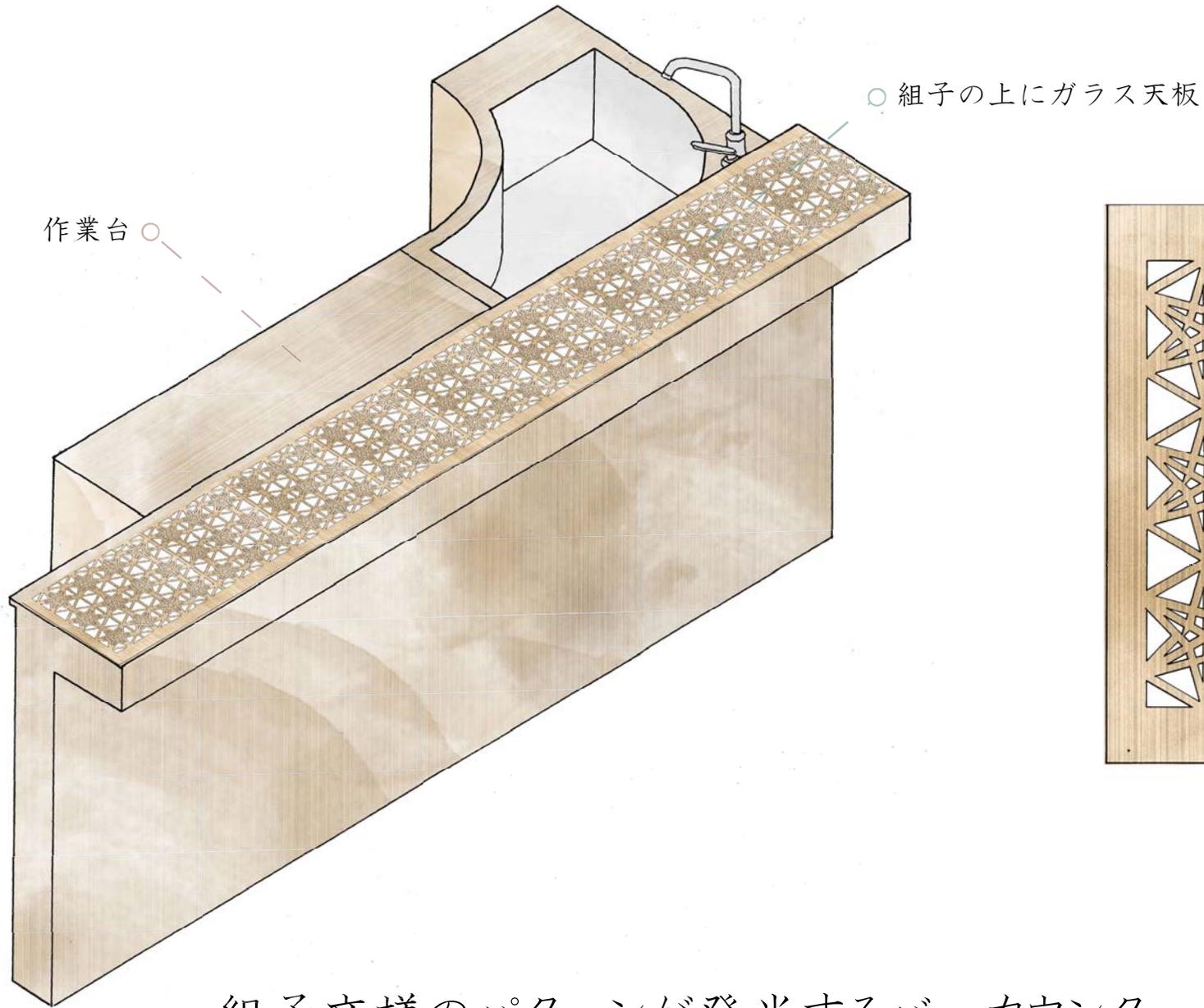
飲む・話す～

「交流の場（バー）」

ここでは、ただコーヒーやお酒などを飲む場所だけではなく、カウンターを除く、机や椅子などが自由に移動する、組み合わせることにより、多様な人々と様々な交流を図る空間である。お互いに知り合った人はもちろん、初対面の人、年齢が違う人、同じ言葉を使っていない人たちとの交流によってアクティビティを生み出すに伴い、須坂市の魅力を作る。

・家具設置後平面図

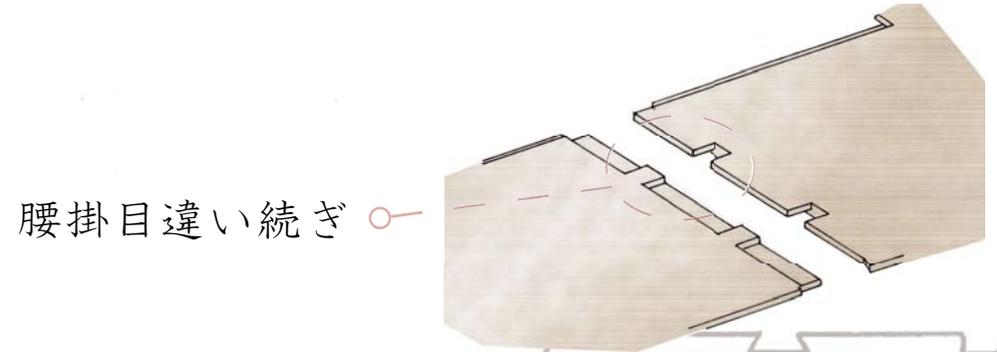
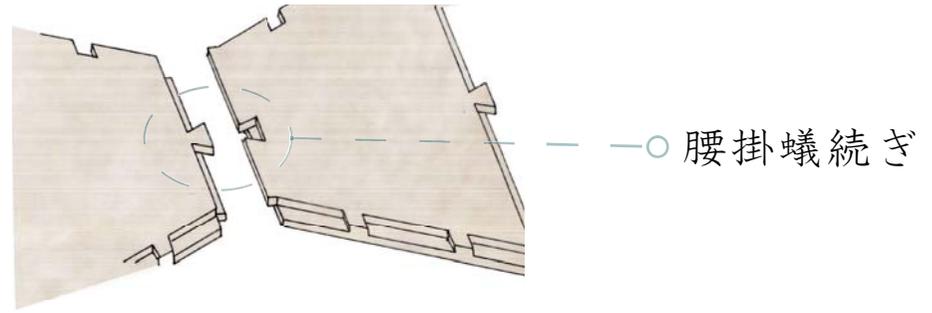
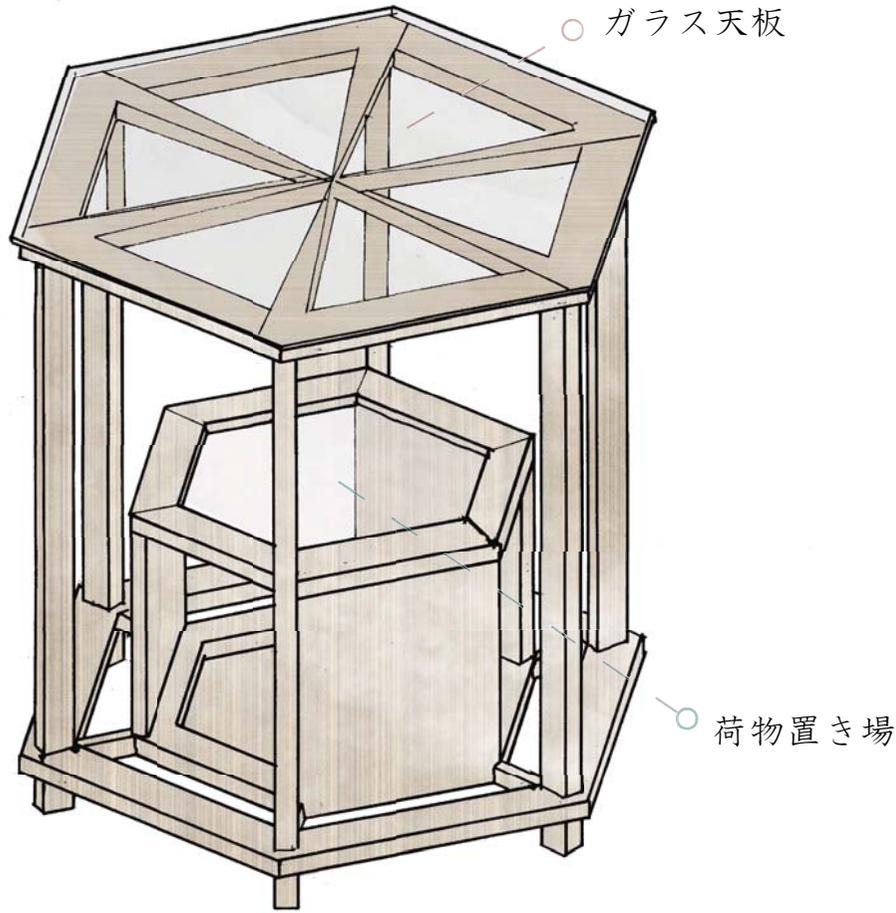
・ 提案する家具



組子～竜胆模様

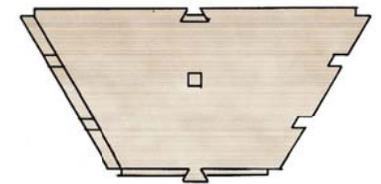
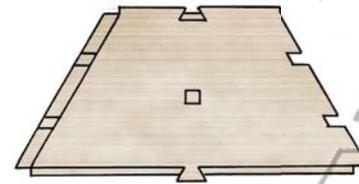
組子文様のパターンが発光するバーカウンター

・ 提案する家具

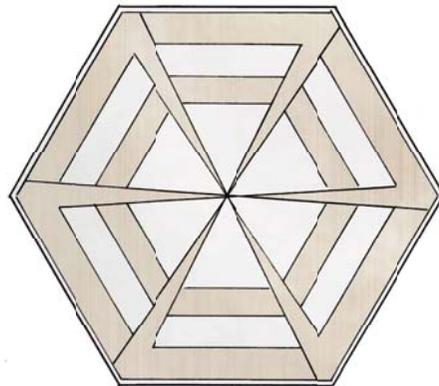


タイプ A

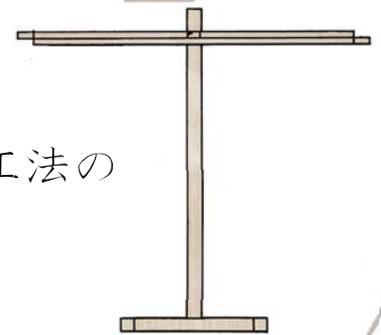
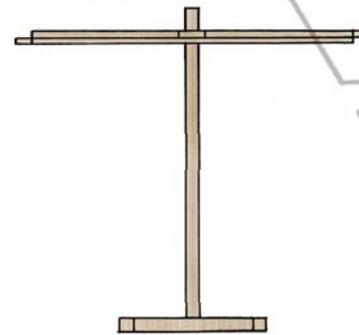
タイプ B

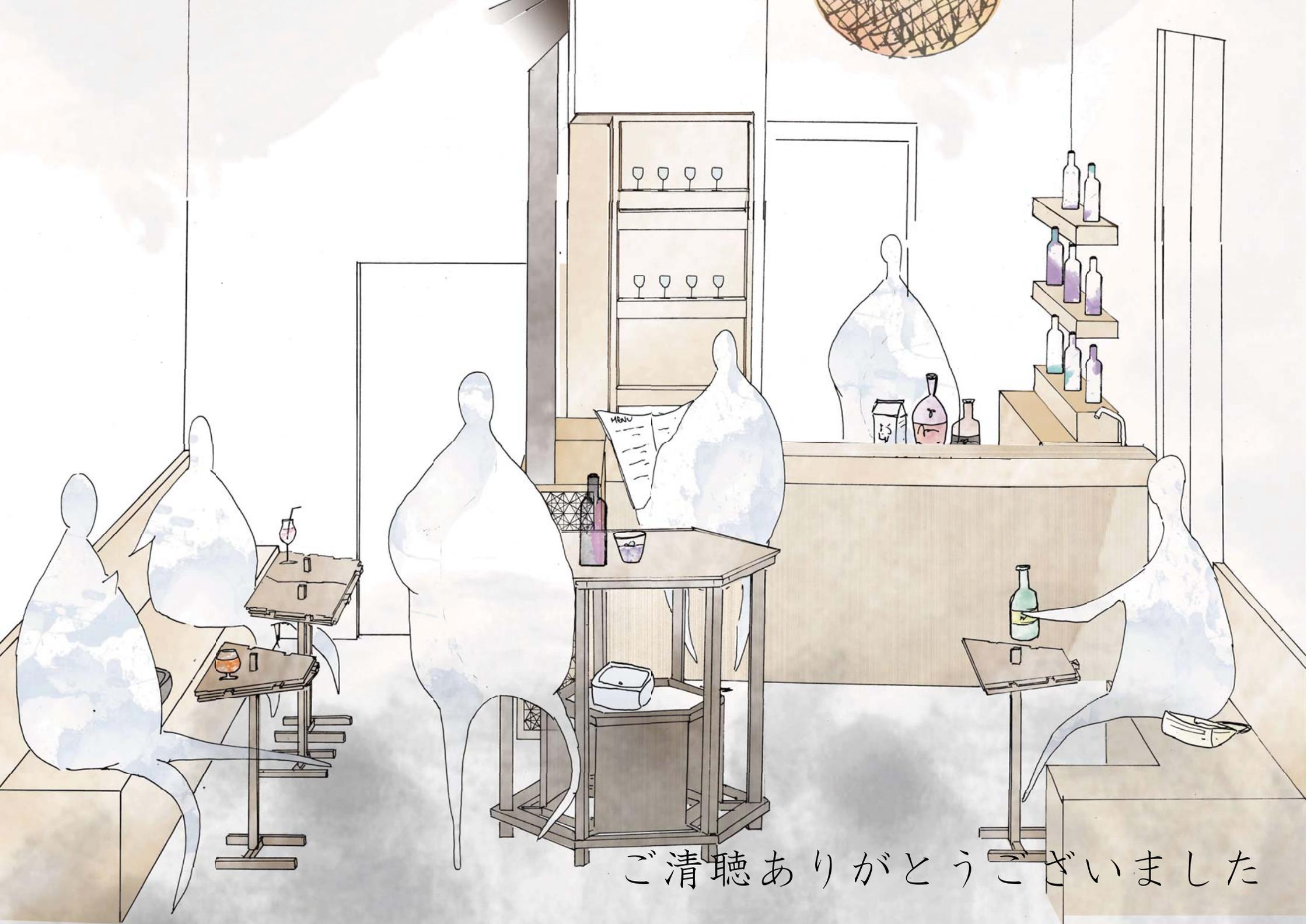


須坂市市章の
モチーフ



木造建築工法の
モチーフ





ご清聴ありがとうございました